



「日本DMAT 隊員養成研修プログラムの改訂について」

日本 DMAT 隊員養成研修 講師

藤沢市民病院救命救急センター 阿南英明

厚生労働科学研究「健康危機・大規模災害に対する初動期医療体制のあり方に関する研究」

主任研究者 国立病院機構災害医療センター 辺見 弘

分担研究者阿南英明 「日本DMAT 隊員養成研修会のあり方に関する研究」にて検討

I. DMAT 隊員養成研修の変更

① 内容配列の変更コンセプト

近隣災害→遠隔地派遣→広域災害時の広域搬送

② 追加講義・実習内容

EMIS 実習

病院支援

統括 DMAT

海上保安庁

医療者のストレスマネジメント

③ プログラムの重複内容整理：講義とシミュレーション、実習の関連性を重視

・重複した内容の講義の整理を実施

・講義→実習やシミュレーションを実施

④ 筆記、実技試験を全講義、実習、シミュレーション終了後実施

従来：2日目夕方試験→改定後：3日目試験

消防訓練場、自衛隊基地での実動訓練を除くすべての講義、実習終了後に実施。

⑤ 衛隊基地での実動訓練が不可能な場合の変更オプションプログラム作成

⑥ 不要項目の削除、不適切内容の変更

II. 隊員の再研修

初期隊員養成研修受講後3～4年経過し、新規事項出現、忘却

必要＝再教育、追加教育＝隊員スキル維持

①厚生労働省の説明

②EMIS の説明

③広域医療搬送の仕組みとカルテ

④統括研修の説明

④病院支援のあり方

⑤その他隊員養成研修新プログラムの変更点などの説明

岩手・宮城内陸地震 におけるDMAT活動

DMAT連絡会
平成20年2月13日
第14回日本集団災害医学会
山形県立救命救急センター
森野一真

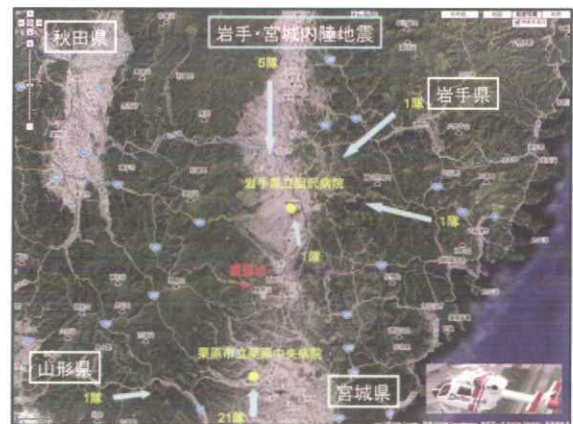
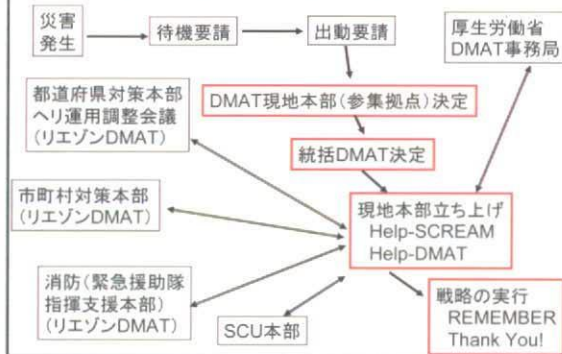
岩手・宮城内陸地震

平成20年6月14日
地震発生8時43分



震央 岩手県 北緯39度01.7分
東経140度52.8分
震源の深さ 8km 規模 M 7.2
最大震度
震度6強:岩手県奥州市、宮城県栗原市
津波 なし
地震の種類 直下型地震(逆断層型)

DMAT活動開始までの流れ



DMAT現地本部(参集拠点)決定に関する
具体的な指針が不確定かつ周知されていない

現状では

被災地域の把握



被災地に最も近い診療機能を
有する災害拠点病院
(ヘリポートを有する基幹病院)

(課題)

- ・ 参集拠点病院の受け入れ能力(DMAT收容施設として)
- ・ 病院への依頼
- ・ 複数箇所の指定
- ・ 参集拠点の変更
- ・ DMAT現地本部と参集拠点との同一性の可否
- ・ 複数県にまたがる場合のDMAT現地本部のありかた

宮城県

HeLP-SCREAM (助けてと叫ぶ) 立ち上げ(活動開始時)

- **Hello** カウンターパートへの挨拶
- **Location** 本部の場所の確保
- **Part** 初期本部人員の役割分担
- **Safety** 安全確認
- **Communication** 連絡手段の確保
- **Report** 上位本部への立ち上げの連絡
- **Equipment** 本部機材の確保
- **Assessment** アセスメント
- **METHANE*** 状況の評価と情報発信

* 初期より活用

Hello カウンターパートへの挨拶 Location 本部の場所の確保



HeLP-DMAT (助けてDMAT) 統括の任務

- **Hello** DMATの登録
- **Liaison** 他機関本部等との連絡(連携)
- **Plan** 作戦イメージの共有
- **Direction** DMATへの指揮系統の指示、役割の付与
- **METHANE*** 被災情報の把握
- **Allocation** ニーズに応じて資源を再配分
- **Transceiver** 各部署との連絡体制の確立

* 初期より活用

Hello DMATの登録



通信機器付

GOOD!

職種	氏名	血液型	電話
1. 医師	林 達彦	B型(D+)	080-11-
2. 医師	小出 隆	B型(D+)	090-4-
3. 看護師	村上 由美子	B型(D+)	090-7-
4. 看護師	高橋 由美	O型(D+)	090-5-
5. 業務調整員	佐藤 一樹	A型(D+)	090-6-
住所: 新潟県村上市田端町2番17号 0254			
衛星携帯電話(インマルサット) 872-1			

参集中に登録、到着時に確認できるシステムがあれば、、、

栗原市立栗原中央病院参集医療チーム

参集DMAT	所属	持ち込み車両	到着時刻
1	山形 山形県立中央病院	救急車、普通車	13:50
2	茨城 弘前総合センター	救急車	14:00
3	茨城 仙台市立病院	救急車	14:00
4	福島 福島県立医科大学	ヘリ	14:00
5	千葉 群馬中央総合病院	救急車	14:10
6	新潟 新潟市立病院	救急車	14:05
7	茨城 石巻赤十字病院	救急車、普通車	14:10
8	山形 山形赤十字病院	救急車、普通車	14:38
9	秋田 秋田総合病院	救急車	14:48
10	山形 国立病院総合病院	救急車、普通車	14:50
11	茨城 茨城大学病院	東北大学病院 (14:58)	救急車
12	秋田 秋田総合病院	普通車	15:20
13	山形 山形大学病院	普通車	15:30
14	茨城 弘前総合センター	救急車B	16:00
15	埼玉 埼玉赤十字病院	救急車	16:38
16	新潟 新潟大学病院	普通車B	16:40
17	新潟 新潟県立中央病院	普通車	17:10
18	新潟 村上総合病院	消防車両	18:00
19	神奈川 北里大学病院	救急車	18:38
20	茨城 茨城県立総合センター	普通車	18:48
21	埼玉 埼玉県立総合センター	普通車	21:00
22	茨城 茨城大学病院	普通車	22:00
他機関			
茨城	日本医科大学病院	救急車	14:10
茨城	日本赤十字社福島第五部	救急車	14:30
茨城	高崎病院(日本DMAT)	救急車B	15:38
茨城	高崎病院(茨城DMAT)		
茨城	日本医科大学水戸赤十字病院	救急車	15:38
千葉	沼田医療総合病院	救急車	17:10
茨城	弘前総合病院	救急車	18:00

Liaison 他機関本部等との連絡(連携) 消防・自衛隊・警察

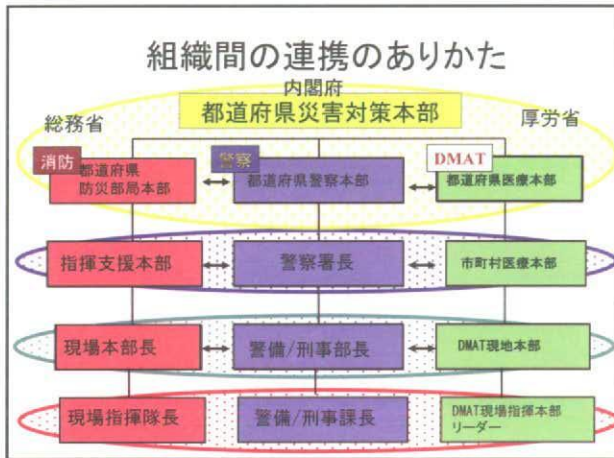


栗原消防からのリエゾン隊員 ヘリ運用調整会議



緊急援助隊指揮支援本部

- (1) 消防のリエゾン隊員に助けられた
- (2) DMATから消防ならびにヘリ運用会議へのリエゾン隊員が不在
- (3) 消防の現場はDMATについて知らない
- (4) 指揮系統(厚労省、総務省)の違いがあり、組織としての連携のためには各レベルでの話し合いが必要



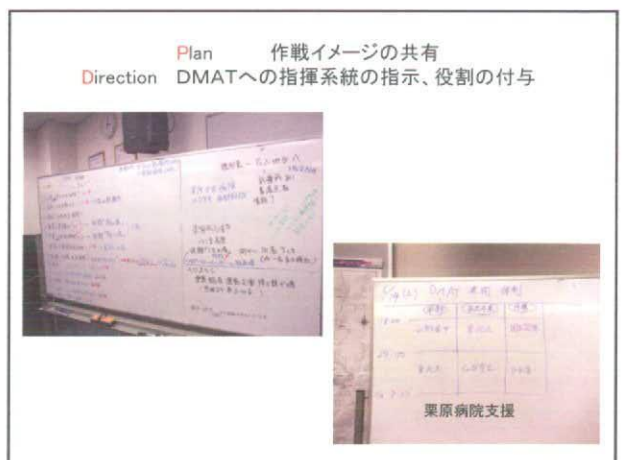
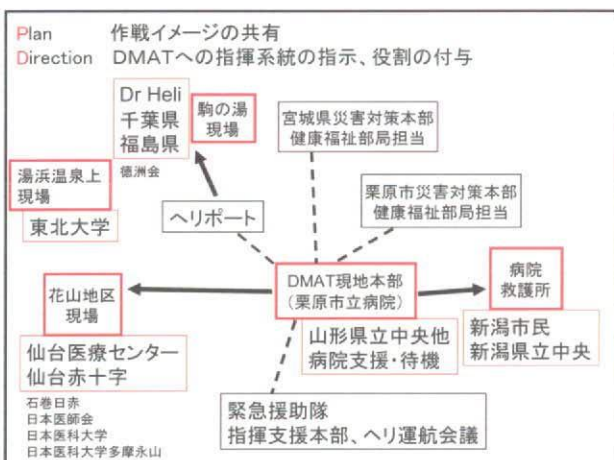
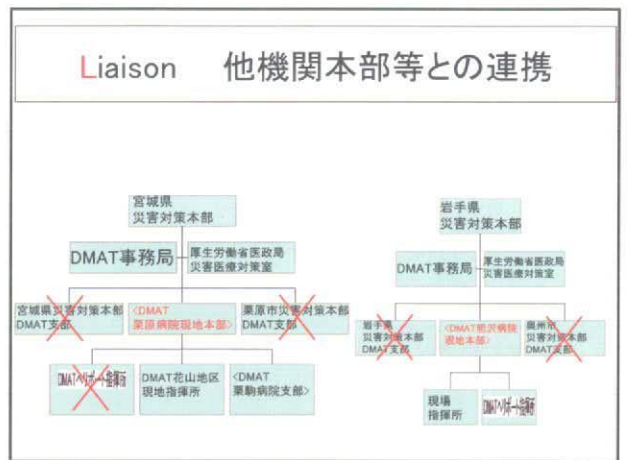
Liaison 他機関本部等との連携 市町村

栗原市災害対策本部

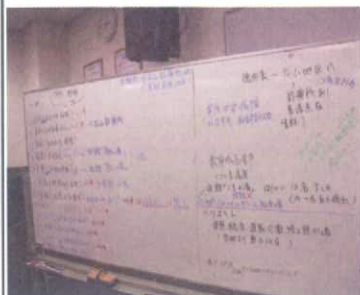
花山地区会議

- (1) 栗原市対策本部は大臣来訪対で、...
- (2) 医療班との協議は殆どが市立病院との協議に終わる
- (3) DMATの認知度はたいへん低い
- (4) 合併前の村役場(現花山支庁)にも対策本部ができていた(詳細)ことを当初把握せず。

栗原市災害対策本部医療班



METHANE * 被災情報の把握



(1) 情報として、定型化されていない
(2) 地図情報に時間を含む情報を貼付けるのが有効か



緊急援助隊地図

* MIMMSより引用

REMEMBER 忘れないで (活動中に留意すべき事)

- Report regularly 定期的に報告を「させる、する」
- Equipment 資機材に不足はないか
- Medical needs 医療需要はどうか
- Effect and Exchange 救援効果判定と適切な交代
- Member and Meeting 参集DMATと会議
- Balance 各拠点におけるDMATのバランス
- Ending 活動終了に向けたThank you
- Retreat (Retire) 撤収

栗原市立病院でのREMEMBER

- Report regularly 不定期的に報告をする、させる傾向、報告内容が定型化していない
- Equipment 資機材に不足(ヘリ燃料)
- Medical needs 花山地区の医療需要の評価に現場とDMAT現地本部とにずれ安全管理に課題
- Effect and Exchange 適切な交代ができなかった
- Member and Meeting 会議での宣伝不足、旧行政区
- Balance DMATバランス不十分一待ちぼうけ
- Ending 活動終了に向けたThank you遅し
- Retreat (Retire) 撤収準備遅し

Medical needs ヘリによる活動の課題

- 現場の安全確認が不十分のままヘリに同乗
一湯野浜温泉上(消防防災ヘリ)
- 現場の安全管理がないまま、危険区域へ進入
一駒の湯(ドクターヘリ)
- 夜間飛行の安全性の評価は？
一花山地区(自衛隊)
- 昼と夜に同一場所に防災ヘリと自衛隊ヘリが
一湯野浜温泉上

THANK you ありがとう (引き継ぎと撤収は初日から始まる)

- Timely 適切な時期に
- Hand over 引き継ぎを
- Appoint 選任してもら(都道府県)
- Number 必要な人数(医療班)
- Kind of medical needs 医療ニーズを伝え
- you あなたにお願い
そしてありがとう

栗原市立病院でのTHANK you !

- Timely 適切な時期の選定が困難で
- Hand over 引き継ぎをいいたせず
- Appoint 選任してもら(都道府県)のに時間がかかり
- Number 必要な人数(医療班)の把握が難しく
- Kind of medical needs 帰り間際の突然の医療ニーズの変化のためにその把握が難しく
- you あなたにお願い
そしてありがとう

岩手県

岩手県立胆沢病院参集医療チーム

参集DMAT	到着時刻
1 胆沢DMATバス現場出動	11:15
2 大船渡	11:55
3 花巻厚生	12:05
4 岩手医大	12:20
5 磐井病院	13:31
6 青森県中	13:45
7 弘前大学	13:45
8 八戸市民	14:20
9 岩手県中	14:28

岩手県におけるDMATの配置



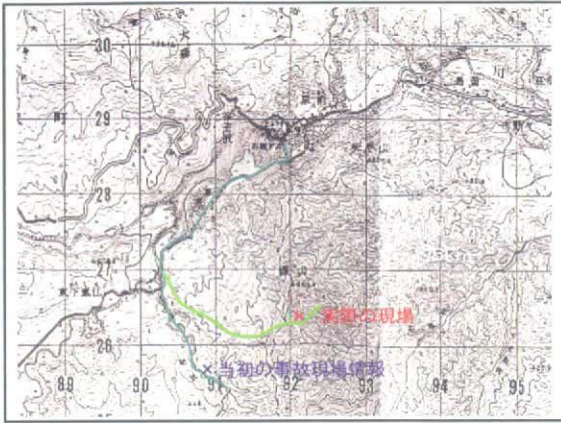
HeLP-SCREAM (助けてと叫ぶ) 立ち上げ(活動開始時)

- Hello カウンターパートへの挨拶
- Location 本部の場所の確保
- Part 初期本部人員の役割分担
- Safety **安全確認**
- Communication **連絡手段の確保**
- Report 上位本部への立ち上げの連絡
- Equipment 本部機材の確保
- Assessment **アセスメント**
- METHANE* 状況の評価と情報発信



ここで余震が起きたら、、、





組織間の連携すべき項目

- (1) 活動場所: 各本部、指揮所の配置
- (2) 情報内容の定型化: 1.被災場所 2.災害の種類
3.危険・安全情報 4.経路情報 5.被災者数
6.各組織の活動状況
- (3) 情報伝達手段: 1.無線 2.衛星携帯 3.インターネット環境
- (4) 搬送手段と運行調整: 1.陸路 2.空路 3.海路
- (5) 資源: 1.食料 2.電源 3.燃料
4.諸物資(医療では酸素、薬品、器具など)



病院支援にふさわしいユニフォームは？



県立胆沢病院における Effect and Exchange 救援効果判定と適切な交代

トリップ	原因	受付時間	年齢	転倒	備考	
1	ドアに顔を打ち	9:01	46	傷宅	左第1指挫創	
2	ブロック落下	9:17	48	傷宅	右踵挫傷	
3	小崖切創	9:29	19	傷宅	左第1指切創	
4	階段転落	9:46	56	傷宅	頭部挫傷	
5	転落	11:40	59	入院	胆沢病院 頸椎損傷、脳性意識、頭部挫傷	
6	転倒	12:30	74	傷宅	背部打撲 胸部打撲	
7	2	落石事故	13:45	48	死亡	胆沢病院
8	3	崖をひねった	14:15	79	傷宅	変形性頸椎症 骨粗しょう症
9	4	バス事故	14:58	53	転倒	赤 盤井病院 大腿骨骨折 骨盤骨折
10	5	バス事故	15:03	61	転倒	赤 岩手県大 両側多発肋骨骨折 左右血胸左足関節骨折 左上腕骨骨折(神経損傷)
11	6	バス事故	15:30	71	入院	貴 胆沢病院 上腕骨骨折
12	7	バス事故	15:30	68	入院	貴 胆沢病院 右前腕骨骨折 左下腿骨折 ショック
13	8	バス事故	15:34	65	傷宅	緑
14	9	バス事故	15:51	73	入院	貴 胆沢病院 右上腕骨骨折
15	10	バス事故	16:02	58	入院	貴 胆沢病院 右肋骨骨折 急性硬膜下血腫

DMATについて 一患者受け入れ現場責任者の印象一

- ・ 総勢10チーム計112名
- ・ (医師39名、看護師44名、事務29名)
- ・ (帰省中の医師1名、看護師1名が独自に集結)
- ・ トリアージ、搬送、初期治療、記録の面で成果
- ・ 院内での初期治療におけるポイント
治療の責任の所在
DMATと院内スタッフとの職務分担
- ・ 他院搬送支援の面で特にメリット

岩手県立胆沢病院 北村先生資料

Member 受け入れ病院

- 受け入れ病院がたとえDMAT指定病院であってもたいていはDMATの役割を理解していない
- DMATは病院支援に関しては支援先病院の院長の指揮下に入る
- あくまでもDMATは診療の補助であり、診療責任と裁量権は支援先病院にある
- 医療資源が充足している場合の関わり方
適切な役割分担が鍵
- 受け入れ側は「土足で入られた」というような感覚に陥りやすい
- 被災者から感謝されてはじめて援助といえる

考察

- (1) 参集拠点の決定
- (2) 安全確認が不十分な現場への出勤
- (3) 携帯電話や消防無線の不感地帯における情報伝達手段の確保
- (4) 各組織の本部におけるDMATの関わりが希薄であり、組織間の連携のありかたについての検討が必要
- (6) 被支援病院の診療支援のあり方
- (7) 他医療救護班との連携のあり方

DMAT

洞爺湖サミット 「DMAT活動」

国立病院機構災害医療センター
救命救急センター
日本DMAT事務局
本間 正人

DMAT

イギリスサミット(2005年)

DMAT

想定される災害

- 会議期間中の自然災害
- テロ災害（爆発など）
- サミット反対勢力の妨害行為（投石、放火、デモ行進）
- 群衆災害（マスギャザリング）
- 火災
- 航空機・列車事故など

DMAT

サミットの医療対応計画

- 首脳の救急医療提供（首脳対応班）
- 札幌市内・伊達・室蘭等の受け入れ病院支援（病院支援医療班）
- ヘリ搬送（ドクターヘリ搬送班）
- 特殊災害対応（NBC治療班）
- 会場周辺の病院支援
- サミット関係者の救急医療(診療所)
- 災害対応

DMAT

DMATは3役

- 災害時対応（現場活動、病院支援、広域搬送）
- （平時）救急医療の提供
- 専門医として（外傷外科医、麻酔科医等）

限られた財源、宿泊環境のなか、最小限の人員で対応可能

DMAT

参画施設

- （道内DMAT）札幌医科大学、旭川赤十字病院、旭川医科大学、市立函館病院、日鋼記念病院、王子総合病院の6施設
- （道外DMAT）新潟市民病院、白鬚橋病院、兵庫県災害医療センター、東北大学、山形県立中央病院、国立病院機構災害医療センターの7施設
- （医療救護班）熊本赤十字病院、日本医科大学の2施設

総勢 70名程度

基本方針

- 災害対応が可能なように自らが移動手段を有すること
- テロ災害においても安全の確保されたコールドゾーンで活動できる装備を有することが活動の条件
- 勤務交代制、24時間体制で活動
 - サミット関係者に対する救急医療支援
 - 災害時は現場出動、病院支援、広域搬送

活動の概要

札幌市内等で発生する災害は、地域の通常災害対応とする。

国際メディアセンター (IMC)

国際メディアセンター (IMC)

DMAT責任者 札幌医科大学 森医師

- 救急医療 (24時間体制)
- IMCに訪問する首脳等の緊急対応 (記者会見・婦人の見学など)
- IMC、その周辺で発生する災害対応

IMCにおける診察患者一覧

43名を診療
内因性疾患29名(感冒、腹痛、疲労など)
外因性疾患14名(打撲、切割、虫刺など)
洞爺協会病院への救急搬送は1名
(一過性意識障害)

氏名	年齢	性別	国籍	職業	DMAT	所属国
1	19	女性	日本	学生	参加	日本
2	19	男性	日本	学生	参加	日本
3	19	男性	日本	学生	参加	日本
4	19	男性	日本	学生	参加	日本
5	19	男性	日本	学生	参加	日本
6	19	男性	日本	学生	参加	日本
7	19	男性	日本	学生	参加	日本
8	19	男性	日本	学生	参加	日本
9	19	男性	日本	学生	参加	日本
10	19	男性	日本	学生	参加	日本
11	19	男性	日本	学生	参加	日本
12	19	男性	日本	学生	参加	日本
13	19	男性	日本	学生	参加	日本
14	19	男性	日本	学生	参加	日本
15	19	男性	日本	学生	参加	日本
16	19	男性	日本	学生	参加	日本
17	19	男性	日本	学生	参加	日本
18	19	男性	日本	学生	参加	日本
19	19	男性	日本	学生	参加	日本
20	19	男性	日本	学生	参加	日本
21	19	男性	日本	学生	参加	日本
22	19	男性	日本	学生	参加	日本
23	19	男性	日本	学生	参加	日本
24	19	男性	日本	学生	参加	日本
25	19	男性	日本	学生	参加	日本
26	19	男性	日本	学生	参加	日本
27	19	男性	日本	学生	参加	日本
28	19	男性	日本	学生	参加	日本
29	19	男性	日本	学生	参加	日本
30	19	男性	日本	学生	参加	日本
31	19	男性	日本	学生	参加	日本
32	19	男性	日本	学生	参加	日本
33	19	男性	日本	学生	参加	日本
34	19	男性	日本	学生	参加	日本
35	19	男性	日本	学生	参加	日本
36	19	男性	日本	学生	参加	日本
37	19	男性	日本	学生	参加	日本
38	19	男性	日本	学生	参加	日本
39	19	男性	日本	学生	参加	日本
40	19	男性	日本	学生	参加	日本
41	19	男性	日本	学生	参加	日本
42	19	男性	日本	学生	参加	日本
43	19	男性	日本	学生	参加	日本

洞爺協会病院

DMAT責任者 兵庫県災害医療センター 中山医師

- ウィンザーホテルより最短の医療機関 (車で20分の位置)
- 洞爺協会病院とDMATが連携してサミット関係者の診察を行う
- サミット会場内の災害発生時は、洞爺協会病院において中等症、軽症患者に対し応急処置を行う
- 災害発生時は現場へ展開、モバイルICUの支援

DMAT

洞爺協会病院診察患者の概要

NO	日時	年齢	性別	診断	国籍	職種	備考	対応DMAT
1	7月6日(日)	17:00	25	男	定竹瓦葺異物(角)	日本	警察	洞爺協会病院市道医
2		17:30	46	男	右膝痛	日本	警察	洞爺協会病院市道医
3	7月7日(月)	17:25	37	男	気管支炎	日本	警察	東北大学
4		17:55	26	男	急性上気道炎-腎臓炎	日本	警察	東北大学
5	7月8日(火)	8:55	22	男	急性腎炎	日本	警察	東北大学
6		14:11	33	男	急性上気道炎	日本	防衛省	兵庫県
7		22:45	25	男	急性扁桃炎	日本	警察	市立函館
8	7月9日(水)	8:50	49	男	低血糖発作	日本	警察	No.2再診 兵庫県
9		11:15	32	男	急性扁桃炎	日本	消防	兵庫県
10		13:10	53	男	嘔吐 高血圧症	日本	マスコミ	兵庫県
11		17:55	38	女	急性上気道炎-腎臓炎	日本	DMAT隊員	東北大学

DMAT

新千歳空港

DMAT責任者 国立病院機構災害医療センター 井上医師



- VIP対応空港救護所
- 空港で発生した災害対応
- 空港周辺で発生した災害対応
- 広域医療搬送時の搬送拠点 (SCU)

DMAT

DMATが警戒待機したフライト

7月7日	航空機	対応要員	乗降	離陸	7月10日	航空機	対応要員	乗降	離陸
13:24	日本航空機	ja			13:41	フランス機	out		
11:28	アメリエアフォース	ja			15:29	国連キーター機	out		
13:20	アメリエアフォース	ja			18:00	ドイツ機	out		
14:00	カタラ機	ja			17:35	アメリエアフォース	out		
17:54	イタリ機	ja			19:26	ロシア機	out		
18:31	ロシア機	ja			19:54	ロシア機	out		
21:05	ロシア機	ja			18:13	韓国機	out		
21:80	タイリア機	ja			19:39	中国機	out		
23:00	南アフリカ機	ja			19:52	ロシア機	out		
7月8日					20:29	カタラ機	out		
7:46	イタリ機	ja			20:41	インド機	out		
8:43	ドイツ機	ja			21:18	イタリ機	out		
8:45	国連連絡員	ja			21:40	オーストラリア機	out		
10:10	アラブ航空機	ja			21:41	イタリ機	out		
10:55	フランス機	ja			22:03	フランス機	out		
19:64	オーストラリア機	ja			22:13	オーストラリア機	out		
20:21	アフリカ機	ja	out		22:25	日本航空機	out		
20:28	中国機	ja							
20:58	インド機	ja							
7月9日									
8:40	アフリカ機	ja							
10:10	アフリカ機	ja							
12:41	韓国機	ja							
21:14	インド機	ja							
22:00	オーストラリア機	ja							

DMAT

レイクヒル・ファーム



DMAT

モバイルICU レイクヒル・ファーム・ヘリポート

医療責任者 熊本赤十字病院 井上医師




- 緊急時の応急救護所
- VIPに対する搬送前の安定化処置 (外傷外科手術を含む)

DMAT

実は---

- 直前に、G8主要国の医療チームが洞爺湖周辺の医療体制を視察
- 1時間以内に緊急手術が可能な施設を会場周辺にリクエスト (米国)
- サミット10日前の6月27日に熊本赤十字病院に対して派遣要請があり、大慌てで、車両の搬送計画、派遣メンバーの決定などの準備を終えた。
- スタッフの割り当て計画がないため、洞爺協会病院担当の兵庫県災害医療センターDMAT、東北大学DMAT、久志本医師 (日本医大)、小井土医師 (災害医療センター) を急遽派遣

**米国・ホワイトハウス
医療チームが訪問**

DMAT

impressive!!
印象深い

**現地医療対策本部
(DMAT担当)**

DMAT

- 事前計画の立案（荒天時）
- 救急・災害時に対応方針を決定
- 決定事項を各DMATに伝達・調整
- 消防・自衛隊等との調整

号外 悪天候時のヘリ搬送について

DMAT

洞爺湖エリア
ウインザーホテル
手稲漢仁会病院
札幌市エリア
また、北海道防災ヘリ
伊達歴史の館
丘珠空港(札幌)

よかった点

DMAT

- DMATが事前に視察し調整可能であった洞爺協会病院ではDMATと病院の協力体制の構築が可能であった
- 病院から待機場所や電源・インターネット環境等、様々なアメニティの提供をいただいた。

課題

DMAT

- 洞爺湖サミットが外務省主導の会議であり、計画を立てる上でさまざまな制約があった。
- 特に展開できる人員や車両やその駐車スペースについてかなりの制約があった。
- 直前にも計画の変更が余儀なくされた（前出）。
- 千歳空港においても、空港や消防、自衛隊との事前調整は十分とは言えない。→活動の目的、広域医療搬送の計画が不明確。
- テロ災害のDMAT対応について、避けては通れない問題

まとめ

DMAT

- DMATは、医療救護所や病院支援と災害発生時の現場出動を兼務することが可能で経済的にも効率よかった。
- 直前の計画の変更や開催中の配置の変更など柔軟な対応が可能であった。
- DMATは予期された警戒型の災害対応においても十分対応可能であった。
- 通常の特発型災害とは異なるVIP対応やMass Gathering Event等の待機警戒型の活動に対応するための研修実施と活動ガイドラインの策定が望まれる。

資料

日本 DMAT 隊員養成研修 受講施設一覧

日本DMAT隊員養成研修受講施設

2009/3/14現在

No.	県名	施設名
1	北海道	1 札幌医科大学医学部附属病院③
2	21	2 函館市立函館病院②
3		3 医療法人社団カスライアンス日鑽記念病院②
4		4 国立大学法人旭川医科大学病院②
5		5 王子総合病院②
6		6 旭川赤十字病院②
7		7 国立大学法人北海道大学病院②
8		8 市立札幌病院
9		9 手稲溪仁会病院②
10		10 国立病院機構北海道がんセンター
11		11 砂川市立病院
12		12 市立釧路総合病院
13	青森県	1 八戸市立市民病院③
14	6	2 国立大学法人弘前大学医学部附属病院
15		3 青森県立中央病院②
16	岩手県	1 岩手県立久慈病院②
17	15	2 岩手県立大船渡病院
18		3 岩手県立磐井厚生病院
19		4 岩手県立花巻厚生病院
20		5 盛岡赤十字病院
21		6 岩手県立中央病院②
22		7 岩手県立二戸病院
23		8 岩手県立宮古病院
24		9 岩手県立胆沢病院②
25		10 岩手医科大学高度救命救急センター②
26		11 岩手県立釜石病院
27	宮城県	1 古川市立病院(大崎市民病院)②
28	13	2 国立大学法人東北大学医学部附属病院③
29		3 国立病院機構仙台医療センター③
30		4 仙台市立病院②
31		5 仙台赤十字病院
32		6 石巻赤十字病院
33		7 東北厚生年金病院
34	秋田県	1 国立大学法人秋田大学医学部附属病院②
35	8	2 秋田組合総合病院②
36		3 平鹿総合病院③
37		4 秋田県立脳血管研究センター
38	山形県	1 山形県立中央病院②
39	9	2 国立大学法人山形大学医学部附属病院②
40		3 公立置賜総合病院②
41		4 日本海総合病院(山形県立日本海病院)②
42		5 済生会山形済生病院
43	福島県	1 白河厚生総合病院②
44	8	2 福島県立医科大学医学部附属病院②
45		3 会津中央病院②
46		4 太田総合病院附属太田西ノ内病院
47		5 いわき市立総合磐城共立病院
48	茨城県	1 筑波メディカルセンター病院②
49	13	2 茨城県立中央病院
50		3 総合病院取手協同病院②
51		4 取手北相馬保健医療センター医師会病院
52		5 茨城西南医療センター病院②
53		6 東京医科大学霞ヶ浦病院
54		7 水戸済生会総合病院
55		8 国立病院機構水戸医療センター
56		9 水戸赤十字病院
57		10 土浦協同病院

No.	県名	施設名
58	栃木県	1 自治医科大学附属病院②
59	9	2 栃木県済生会宇都宮病院②
60		3 栃木県立がんセンター
61		4 獨協医科大学病院②
62		5 芳賀赤十字病院
63		6 足利赤十字病院
64	群馬県	1 伊勢崎市民病院
65	13	2 前橋赤十字病院③
66		3 国立大学法人群馬大学医学部附属病院②
67		4 日高病院②
68		5 利根中央病院②
69		6 群馬県済生会前橋病院②
70		7 富士重工業健康保険組合太田病院
71	埼玉県	1 川口市立医療センター
72	14	2 埼玉医科大学総合医療センター③
73		3 獨協医科大学越谷病院②
74		4 さいたま赤十字病院②
75		5 深谷赤十字病院
76		6 防衛医科大学校病院
77		7 自治医科大学附属さいたま医療センター②
78		8 埼玉県済生会川口総合病院
79		9 埼玉医科大学国際医療センター
80	千葉県	1 日本医科大学千葉北総病院②
81	17	2 総合病院国保旭中央病院②
82		3 千葉県循環器病センター
83		4 千葉県救急医療センター②
84		5 国保直営総合病院君津中央病院②
85		6 国保松戸市立病院
86		7 国立大学法人千葉大学医学部附属病院②
87		8 成田赤十字病院②
88		9 医療法人鉄蕉会亀田総合病院②
89		10 船橋市立医療センター
90	東京都	1 昭和大学病院
91	20	2 東京医科大学病院④
92		3 東京女子医科大学東医療センター
93		4 東京医科大学八王子医療センター
94		5 青梅市立総合病院
95		6 医療法人社団誠和会白雲橋病院
96		7 国立病院機構災害医療センター
97		8 国立国際医療センター②
98		9 国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院
99		10 武蔵野赤十字病院②
100		11 国立大学法人東京大学医学部附属病院②
101		12 国立病院機構東京医療センター②
102		13 国立成育医療センター
103	神奈川県	1 藤沢市民病院②
104	19	2 聖マリアンナ医科大学病院③
105		3 横浜市立大学附属市民総合医療センター②
106		4 北里大学病院②
107		5 東海大学医学部附属病院②
108		6 津久井赤十字病院
109		7 平塚市民病院
110		8 川崎市立川崎病院②
111		9 横浜市立みなと赤十字病院
112		10 横浜南共済病院
113		11 済生会横浜市東部病院
114		12 秦野赤十字病院

No.	県名	施設名
115	新潟県	1 長岡赤十字病院②
116	13	2 新潟市民病院②
117		3 新潟県立中央病院②
118		4 下越病院
119		5 新潟県厚生連村上総合病院②
120		6 佐渡総合病院
121		7 国立大学法人新潟大学医学部総合病院
122		8 新潟県立十日町病院
123		9 新潟県立新発田病院
124	富山県	1 富山県立中央病院②
125	8	2 国立大学法人富山大学附属病院③
126		3 厚生連高岡病院②
127		4 黒部市民病院
128	石川県	1 国立大学法人金沢大学医学部附属病院②
129	12	2 国立病院機構金沢医療センター③
130		3 金沢医科大学病院②
131		4 石川県立中央病院③
132		5 公立能登総合病院②
133	福井県	1 福井県立病院②
134	11	2 国立大学法人福井大学医学部附属病院③
135		3 福井県済生会病院②
136		4 福井赤十字病院②
137		5 杉田玄白記念公立小浜病院②
138	山梨県	1 山梨県立中央病院
139	6	2 富士吉田市立病院③
140		3 山梨赤十字病院②
141	長野県	1 国立大学法人信州大学医学部附属病院②
142	18	2 佐久総合病院②
143		3 相澤病院②
144		4 諏訪赤十字病院②
145		5 伊那中央病院②
146		6 飯田市立病院②
147		7 北信総合病院
148		8 長野赤十字病院②
149		9 国立病院機構長野病院
150		10 市立大町総合病院
151		11 県立木曾病院
152	岐阜県	1 国立大学法人岐阜大学医学部附属病院②
153	13	2 総合病院中津川市民病院②
154		3 岐阜県立多治見病院
155		4 岐阜赤十字病院
156		5 木沢記念病院②
157		6 大垣市民病院
158		7 岐阜県総合医療センター②
159		8 高山赤十字病院
160		9 岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院
161	静岡県	1 静岡県立総合病院③
162	17	2 順天堂大学医学部附属静岡病院②
163		3 聖隷三方原病院③
164		4 県西部浜松医療センター
165		5 静岡済生会総合病院②
166		6 浜松医科大学医学部附属病院
167		7 沼津市立病院②
168		8 静岡赤十字病院
169		9 国立病院機構静岡医療センター②

No.	県名	施設名
170	愛知県	1 半田市立半田病院③
171	28	2 豊橋市民病院③
172		3 名古屋第二赤十字病院②
173		4 藤田保健衛生大学病院②
174		5 小牧市民病院②
175		6 社会保険中京病院②
176		7 厚生連安城更正病院②
177		8 国立病院機構名古屋医療センター②
178		9 愛知医科大学病院②
179		10 名古屋第一赤十字病院
180		11 名古屋掖済会病院②
181		12 岡崎市民病院②
182		13 豊田厚生病院②
183		14 一宮市立市民病院
184	三重県	1 松阪市民病院
185	12	2 国立大学法人三重大学医学部附属病院③
186		3 三重県立総合医療センター②
187		4 市立四日市病院②
188		5 山田赤十字病院②
189		6 いなべ総合病院
190		7 JA三重厚生連鈴鹿中央総合病院
191	滋賀県	1 恩賜財団済生会滋賀県病院②
192	17	2 長浜赤十字病院②
193		3 大津市民病院②
194		4 大津赤十字病院②
195		5 滋賀医科大学附属病院
196		6 近江八幡市立総合医療センター③
197		7 草津総合病院②
198		8 彦根市立病院②
199		9 公立甲賀病院
200	京都府	1 市立福知山病院②
201	14	2 国立病院機構京都医療センター②
202		3 京都府立与謝の海病院
203		4 京都第一赤十字病院②
204		5 京都市立病院②
205		6 済生会京都府病院
206		7 南丹病院
207		8 公立山城病院
208		9 国立大学法人京都大学医学部附属病院②
209	大阪府	1 大阪府立急性期・総合医療センター
210	28	2 済生会千里病院③
211		3 国立病院機構大阪医療センター③
212		4 大阪府立泉州救命救急センター②
213		5 大阪府立総合医療センター②
214		6 大阪府立中河内救命救急センター②
215		7 国立大学法人大阪大学医学部附属病院③
216		8 近畿大学医学部附属病院②
217		9 大阪府三島救命救急センター②
218		10 関西医科大学附属滝井病院②
219		11 市立堺病院②
220		12 大阪府立大学医学部附属病院②
221		13 大阪赤十字病院②

No.	県名	施設名
222	兵庫県	1 国立大学法人神戸大学医学部附属病院③
223	21	2 兵庫県災害医療センター②
224		3 兵庫医科大学病院②
225		4 赤穂市民病院②
226		5 神戸市立中央市民病院③
227		6 西脇市立西脇病院
228		7 神戸赤十字病院②
229		8 兵庫県立加古川病院
230		9 姫路赤十字病院②
231		10 兵庫県立柏原病院
232		11 兵庫県立淡路病院
233		12 公立豊岡病院組合立豊岡病院
234	奈良県	1 奈良県立医科大学附属病院④
235	6	2 奈良県立奈良病院②
236	和歌山県	1 和歌山県立医科大学附属病院②
237	13	2 日本赤十字社和歌山医療センター②
238		3 橋本市市民病院②
239		4 国立病院機構南和歌山医療センター②
240		5 公立那賀病院②
241		6 国保日高総合病院
242		7 社会保険紀南病院②
243	鳥取県	1 国立大学法人鳥取大学医学部附属病院
244	6	2 鳥取県立中央病院
245		3 鳥取県立厚生病院②
246		4 鳥取赤十字病院②
247	島根県	1 国立大学法人島根大学医学部附属病院②
248	5	2 島根県立中央病院②
249		3 松江赤十字病院
250	岡山県	1 川崎医科大学附属病院③
251	11	2 岡山赤十字病院③
252		3 津山中央病院②
253		4 岡山済生会総合病院②
254		5 倉敷中央病院
255	広島県	1 福山市市民病院②
256	15	2 国立大学法人広島大学病院②
257		3 国立病院機構呉医療センター②
258		4 厚生連広島総合病院②
259		5 県立広島病院
260		6 中国労災病院
261		7 興生総合病院②
262		8 広島赤十字・原爆病院
263		9 市立三次中央病院
264		10 厚生連尾道総合病院
265	山口県	1 国立大学法人山口大学医学部附属病院②
266	12	2 国立病院機構岩国医療センター
267		3 山口県立総合医療センター②
268		4 下関市立中央病院
269		5 総合病院社会保険徳山中央病院②
270		6 周東総合病院
271		7 国立病院機構関門医療センター②
272		8 岩国市医療センター医師会病院
273	徳島県	1 徳島県立中央病院②
274	11	2 徳島赤十字病院③
275		3 健康保険鳴門病院②
276		4 徳島県立海部病院
277		5 阿南医師会中央病院
278		6 徳島県立三好病院
279		7 国立大学法人徳島大学病院

No.	県名	施設名
280	香川県	1 香川県立中央病院
281	11	2 国立大学法人香川大学医学部附属病院②
282		3 三豊総合病院②
283		4 回生病院③
284		5 国立病院機構普通寺病院②
285		6 高松赤十字病院
286	愛媛県	1 愛媛県立中央病院②
287	8	2 国立大学法人愛媛大学医学部附属病院③
288		3 松山赤十字病院②
289		4 市立宇和島病院
290	高知県	1 高知医療センター(県・事業団)③
291	14	2 高知赤十字病院③
292		3 国立大学法人高知大学医学部附属病院③
293		4 近森病院③
294		5 高知県立幡多けんみん病院
295		6 高知県立安芸病院
296	福岡県	1 聖マリア病院②
297	20	2 国立大学法人九州大学病院③
298		3 国立病院機構九州医療センター②
299		4 久留米大学病院③
300		5 福岡赤十字病院
301		6 北九州市立八幡病院②
302		7 飯塚病院②
303		8 福岡大学病院②
304		9 北九州総合病院
305		10 済生会福岡総合病院
306		11 福岡和白病院
307	佐賀県	1 佐賀県立病院好生館④
308	6	2 佐賀大学医学部附属病院
309		3 唐津赤十字病院
310	長崎県	1 佐世保市立総合病院
311	11	2 長崎県離島医療圏組合立五島病院
312		3 国立病院機構長崎医療センター②
313		4 地方行政独立行政法人北松中央病院
314		5 長崎県立島原病院②
315		6 国立大学法人長崎大学医学部・歯学部附属病院②
316		7 労働者健康福祉機構長崎労災病院
317		8 日本赤十字社長崎原爆病院
318	熊本県	1 国立病院機構熊本医療センター②
319	8	2 国立大学法人熊本大学医学部附属病院
320		3 熊本赤十字病院②
321		4 健康保険人吉総合病院
322		5 宇賀岳病院
323		6 済生会熊本病院
324	大分県	1 国家公務員共済組合連合会新別府病院
325	17	2 中津市立中津市民病院②
326		3 国立大学法人大分大学医学部附属病院②
327		4 大分県立病院
328		5 大分赤十字病院
329		6 臼杵市医師会コスモス病院
330		7 大分三愛メディカルセンター
331		8 済生会日田病院
332		9 大分中村病院
333		10 大分市医師会立アルメイダ病院②
334		11 宇佐高田医師会病院
335		12 国東市民病院
336		13 健康保険南海病院
337		14 天心堂へつぎ病院

No.	県名	施設名
338	宮崎県	1 宮崎県立宮崎病院③
339	8	2 宮崎大学医学部付属病院②
340		3 都城市郡医師会病院
341		4 海老原記念病院
342		5 宮崎県立日南病院
343	鹿児島県	1 鹿児島医師会病院
344	3	2 鹿児島市立病院
345		3 鹿児島赤十字病院
346	沖縄県	1 国立大学法人琉球大学医学部附属病院
347	8	2 浦添総合病院②
348		3 沖縄県立北部病院
349		4 沖縄県立中部病院
350		5 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター②
351		6 沖縄赤十字病院

351施設 596チーム 3584名

- ※ 施設名の①～④は、受講チーム数
- ※ 都道府県名の下段の数字はチーム数

DISASTER

MEDICAL

ASSISTANCE

TEAM